



題字 中学部 藤巻 棕介

ゆめをのせて

十日町市立ふれあいの丘支援学校
令和6年7月24日発行 vol. 4

令和5年度「いじめ見逃しゼロ標語・ポスター」金賞受賞小学部共同作品

7月13日 学習参観・PTA 親子活動・引き渡し訓練



7月13日(土)に、学習参観とPTA 親子行事を行いました。午前中の学習参観では、小学部は、各学級で個別学習と生活を行いました。中学部は、個別学習と2班に分かれて職業基礎の学習を行いました。保護者の方から参観していただき、いつも以上に張り切って学習に取り組む児童生徒が多く見られました。午後からは、「親子で楽しもう! 『ふれあいミニオリンピック』」と題して、PTA 主催の親子行事を行いました。和やかな雰囲気の中で、親子や仲間同志で、楽しいひと時を過ごすことができました。皆様、一日大変ありがとうございました。



疑問を持つことの大切さ ～ 中学部のクリーン活動から ～

校長 上松 武

73 日間の 1 学期が終わりました。34 名の子どもたち一人一人に多くの学びがあり、将来につながる数々の成長がみられました。それを支えてくださった保護者の皆様、地域の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、今年度から中学部が新しい学習活動を始めました。それは、総合的な学習の時間に実施してきた「**クリーン活動**」です。1 学期には 3 回実施しました。中学部全体を 5, 6 名のグループに編成して清掃エリアを担当し、道端に落ちているゴミなどを拾います。学校に持ち帰り、家庭余暇生活の授業で学習したゴミの分別方法に従って分別した上で捨てています。地域の方とお会いした時には生徒から進んで挨拶をしたり、校舎内にゴミが落ちていたらさっと拾って捨てたりすることができ、この学習での学びが他の場面で生かされています。

「時を守り、場を清め、礼を尽くす」

この言葉は、教育学者である森信三さんが提唱した学校など職場再建の 3 原則です。まさにこのクリーン活動は、子どもたちが地域を住みやすい場所に再建していく活動だと、私は考えています。例えば、子どもたちの通学路にお菓子の袋などが落ちていたとします。子どもたちは、



↑ 花火の燃えカスやお菓子の袋

「この前きれいにしたのに、また落ちている。なんで、捨てるんだろうか」

「『ゴミはゴミ箱に捨てる』という当たり前のことが、どうして守れないんだろうか」

と“疑問”や“憤り”を感じたことと思います。そして、どうしたらゴミを道端に捨てないようにできるのか考えると思います。実は、私はこのことが「クリーン活動」のもう一つの大切な学びだと考えています。この先、世の中の様々な出来事に対して、「それは間違っている。訂正してください」「そうすることで迷惑している人がいる。今すぐにやめてください」と正しく疑問を抱き、憤ることにつながり、それが地域を、そして社会を変えていくことになると、私は信じています。

ふれあいの丘支援学校の子どもたちとともに、誰もが安心して、自分らしく暮らせる、よりよい社会に変えていきませんか。2 学期以降も、これまでと相変わらぬご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

~~~~~ ちょっと先の話、でも大事な話③ ~~~~~

Q 県立川西高等特別支援学校では、将来の就労に向けてどんな学習活動があるのですか。

A 「**職場実習**」という学習活動があります。生徒の希望や、実態、障がいの特性などから、一般企業や福祉事業所で 2～3 週間ほど、従業員の方と同じように仕事をさせていただいています。6 月中旬～7 月上旬の前期と 11 月中旬～12 月上旬の後期の 2 回実施しています。



体調に気をつけて楽しい夏休みを
お過ごしください！



水筒を持ち歩くときの転倒事故に注意！



熱中症予防のため、水分補給が欠かせない時期が続いています。出掛ける際、子どもが水筒を持ち歩く機会も多いと思いますが、転倒した際に、首や肩に掛けていた水筒がおなかに当たり、内臓を損傷する等といった思わぬ事故が発生していると、消費者庁から注意喚起があります。詳細は下の枠内をお読みください。

消費者庁・国民生活センターには、水筒を持ち歩く子どもの転倒事故についての情報が、医療機関から寄せられています。

- ・「水筒(1 リットルの容器)を斜め掛けにして歩いていたところ坂道で転倒し、地面と水筒に挟まれる形で腹部を強打した。脾臓のため集中治療室に入院し、保存加療で 10 日後に退院した。」(9 歳)
- ・「通学中に友人と追いかけてっこをしていたところ転倒し、斜め掛けしていた水筒が腹部の右側に当たった。痛みと嘔吐があり救急搬送され、小腸破裂、汎発性腹膜炎のため緊急手術の上、集中治療室に入院した。」(10 歳)
- ・「登校中、走っていたところ硬い土の場所ですまづいて転倒した。その際、首から提げていた水筒が、地面とお腹の間に挟まり、腹部を強打した。内臓損傷により、脾臓 50%程度及び脾臓を摘出した。」(7 歳)

子どもは転倒しやすい、転倒した際に反射的に手をつくといった動作が取りにくい等の特徴があります。また、子どもは腹部臓器の占める割合が大きい、お腹周りの筋肉が弱い等の理由から、腹部に外から力が加わった場合に内臓損傷が起こりやすいとされています。

よって、水筒を首や肩から掛けていると、転倒した際、上記事例のように水筒が腹部に当たる可能性があるため危険です。

このほか、水筒のひもが首や腕に絡まったり、遊具等に引っかかったりすることにも注意が必要です。

子どもに水筒を持ち歩かせるときは、以下のポイントに注意しましょう。

- ・水筒はなるべくリュックサック等に入れましょう。
- ・水筒を首や肩に掛けているときに走らないようにしましょう。
- ・遊具等で遊ぶ場合は、水筒を置いて遊ぶようにしましょう。

熱中症予防に役立つ水分補給の道具に思わぬ危険が潜んでいます。転んだときの危険性について日頃から子どもに教えておくことが大切です。

今後の予定

8月の予定

2(金) 同窓会発足式及び総会
ほほえみ夏祭り

22(木) 個別懇談週間 ~26日まで

29(木) 2学期始業式

9月の予定

4(水) 避難訓練(不審者対応)

12(木) 小学部修学旅行 ~13日まで

25(水) 郡市小学校親善陸上大会

26(木) 全校朝会



お知らせ

学校の閉庁日について

8月9日(金)~16日(金)の間、学校は閉庁となります。この間に、学校への緊急な問い合わせが必要な場合は、下記の連絡先にご連絡ください。

学校用携帯電話 伊藤 武志(教頭)

☎070-7414-5522

十日町市教育委員会 学校教育課

☎025-757-3336

また、夏季休業中は17:30閉庁となります。翌日にご連絡いただくか、緊急の場合は、上記学校用携帯電話(教頭)にご連絡ください。

取材がありました

7月12日(金)に十日町小学校との共生教育、インクルーシブ教育に関して取材がありました。フジテレビのWEDページに掲載される予定です。掲載日等が決まりましたらお知らせいたします。

ふれあいの丘支援学校 第1回後援会役員会

7月9日(火)に第1回後援会役員会が開かれました。ふれあいの後援会は今年で6年目を迎えました。今年度1回目の後援会では、昨年度の会計決算等の報告がありました。

◇昨年度の会員数は233名でした。

内訳は、一般会員(企業・団体)58 一般会員(個人)101 卒業生・保護者44 旧職員30

◇収入総額は、107万5,833円です。

内訳は、寄付等15万4585円 会費合計65万4000円 繰越金26万7248円

後援会より、中学部の職業基礎の学習やほほえみの会への補助等、多くのご支援をいただき、充実した活動を行えています。年々会員数や収入総額が増えています。多くの皆様からの熱いご支援に感謝申し上げます。

いじめ見逃しゼロ 県民運動



十日町市立ふれあいの丘支援学校

〒948-0022 新潟県十日町市学校町1丁目614番地32

TEL 025-752-7471 FAX 025-752-7472

✉ fureainooka-tk@edu.city.tokamachi.niigata.jp

